

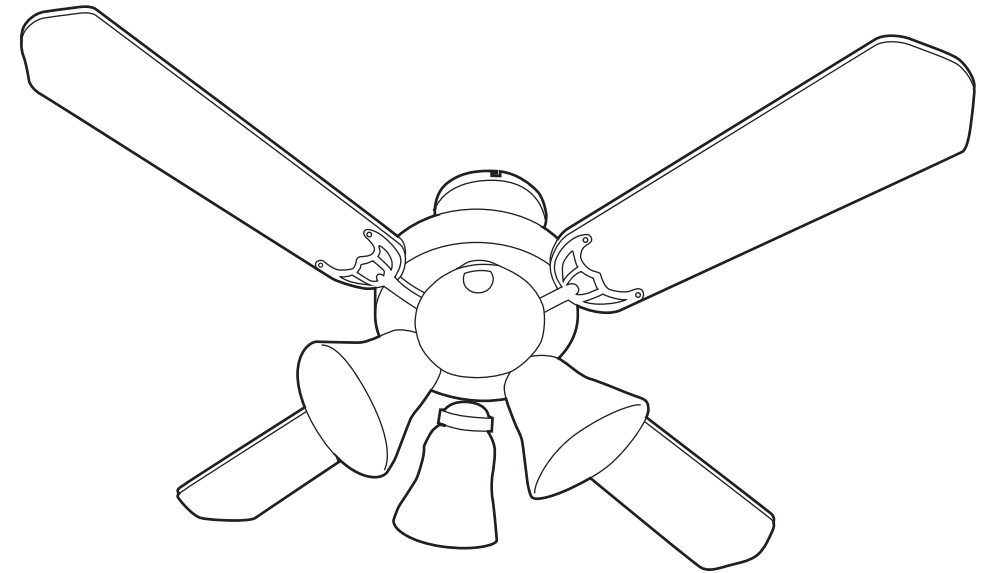
# シーリングファン

## 保証書付取扱説明書

型番: **LT-Y4F4L1**

品番: **06-3905**

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
 施工の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しく施工してください。  
 取り付け工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になるお客様が保管してください。



### もくじ

- 安全上のご注意 ..... 1
- 取り付け上のご注意 ..... 2
- 各部の名称 ..... 5
- 器具の取り付け方法 ..... 7
- 操作方法 ..... 12
- 仕様 ..... 13
- 保証書 ..... 15

## 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
  - 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
    - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
    - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
    - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
  - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書き換えられた場合  
 (但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
  - 24時間連続使用など1日20時間以上の長時間使用の場合、保証期間は半分にになります。
  - 生産終了品については、後続機種または同等の製品にて対応いたします。保証内容にシーリング等の取り替え作業は含みません。
  - 保証範囲は、「使用上のご注意」に従った使用状態で故障した場合のみになります。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
  - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名 シーリングファン				★お買い上げ日: 年 月 日	
型番	LT-Y4F4L1	品番	06-3905	保証期間 (お買い上げの日から)	本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	フリガナ ★お名前 様				
	★ご住所 〒 - 電話 ( )				
修理メモ					
販売店	★住所 店名 電話				印

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。  
 ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
 ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
 ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。  
 ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機  
 〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ  
 ●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
**0120-963-006 048-992-2735**

電話受付 平日 9:00~17:00  
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ  
 電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00  
 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

必ずお読みください

# 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。  
お読みになった後は、(いつでも見られる所に)必ず保管してください。

●表示について：表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

**禁止** この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。

**指示** この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 器具取付時の安全上のご注意

### 警告

器具の取付けは、重量に耐えるところに取扱説明書にしたがい確実に行う。  
取付けに不備があると落下し、感電・けがの原因となります。

電源を接続する際は、器具の取付け方法によって確実に行う。  
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

器具取付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼する。  
一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。

落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。  
落下による、ケガの原因になります。

### 注意

**水ぬれ禁止** この器具は非防水であるため、湿気、水気のあるところで使用しない。  
感電・火災の原因となることがあります。

**禁止** この器具は屋内(5℃~35℃)用であるため、屋外では使用しない。  
屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。

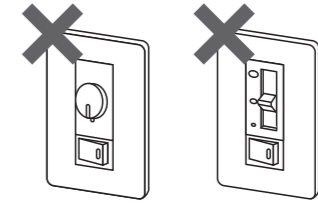
**禁止** 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しない。  
感電・火災の原因となることがあります。

## 取り付け上のご注意

### 注意

■調光器のある回路では使用しないでください。

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり、使用できません。  
右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。

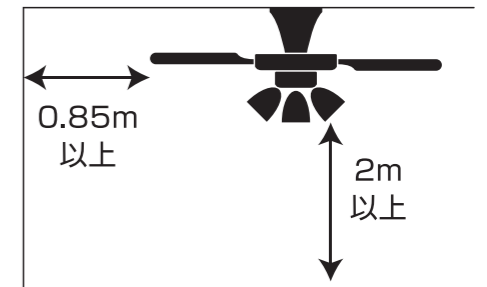


調光器の交換工事は  
電気工事店に  
依頼してください。

【調光器付壁スイッチ代表例】

■取り付けは、必ず右記の寸法が確保できる所に取り付ける

取り付けの際には、図の通りに必ず壁面から0.85m以上離すことができ、取り付けの部屋の天井高が2m以上であることをご確認ください。  
上記基準を満たしていない場合、空気の流れが乱れて性能が低下したり本体が振動を引き起こす場合があります。

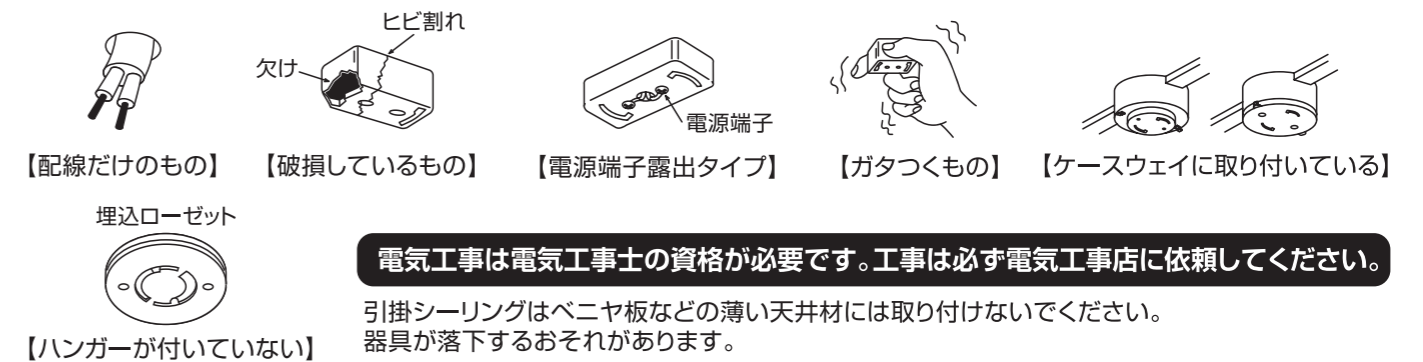


## 取り付けできない場所

■下図の場所には取り付けできません。



■下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。



電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。  
器具が落下するおそれがあります。

## 使用時の安全上のご注意

### 警告

必ず守る	布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。 火災の原因となります。	必ず守る	粉塵が多い環境では使用しない。 発火や発熱の原因となります。
必ず守る	器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まない。 火災・感電の原因となります。	必ず守る	結露するような高湿度環境では使用しない。 結露などにより水分がソケット内に侵入し絶縁不良を生じ、発煙・発火を起こす原因となります。
必ず守る	交換やお手入れの際には、必ず電源を切る。 電源を切らないと、感電の原因となることがあります。	必ず守る	お手入れのためにセード、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付ける。 不完全に取り付けると、落下してけが・物損の原因となることがあります。
分解禁止	部品の追加改造は絶対にしない。 火災・感電の原因となります。	必ず守る	万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常を感じた場合、すぐに電源スイッチを切る。 異常事態がおさまったことを確認して販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
必ず守る	取り付け、取り外しの際は足場を確保し安全に作業できるように注意してください。 転倒・落下・ケガの原因となります。	禁止	振動や衝撃の大きい場所で使用しないでください。 落下・ケガの原因となります。

### 注意

必ず守る	壁付調光器のある回路では使用しない。 照明器具が故障します。	禁止	点灯部を直視しない。 目の痛みの原因になることがあります。
必ず守る	照明器具には寿命があり、設置して8～10年経つと外観に異常が無くとも内部の劣化が進行するので、点検・交換する。 点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。 (周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。) ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 (JIS C8105-1 解説による。)	禁止	直接風にあたる場所に取り付けしないでください。 落下による、ケガの原因となります。
禁止	器具の近くに物を置いたりしない。 羽根の回転により、破損・故障の原因となります。	必ず守る	運転中は羽根に触れない。 ケガの原因となります。
手を触れない	点灯中・消灯直後は電球やその周辺が熱いので、手や肌などをふれない。 火傷の原因となります。	必ず守る	万一、羽根が壊れた際は、全部取り替えてください。 異常振動により、落下、感電の原因となります。 販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
禁止	風を長時間、体にあてないでください。 健康を害するおそれがあります。	必ず守る	セードなどが破損した場合は、直接手や肌などを触れないでください。 異常振動により、落下、感電の原因となります。 販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
禁止	本体が一部破損したまま使わない。 落下、けがのおそれがあります。	必ず守る	異常振動が発生した場合は、使用を中止する。 器具の取り付けがゆるみ、落下・ケガの原因となります。
		水洗い禁止	シンナー・ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などで本体を拭かない。 変色、変形、破損の原因となります。

## 使用上のご注意

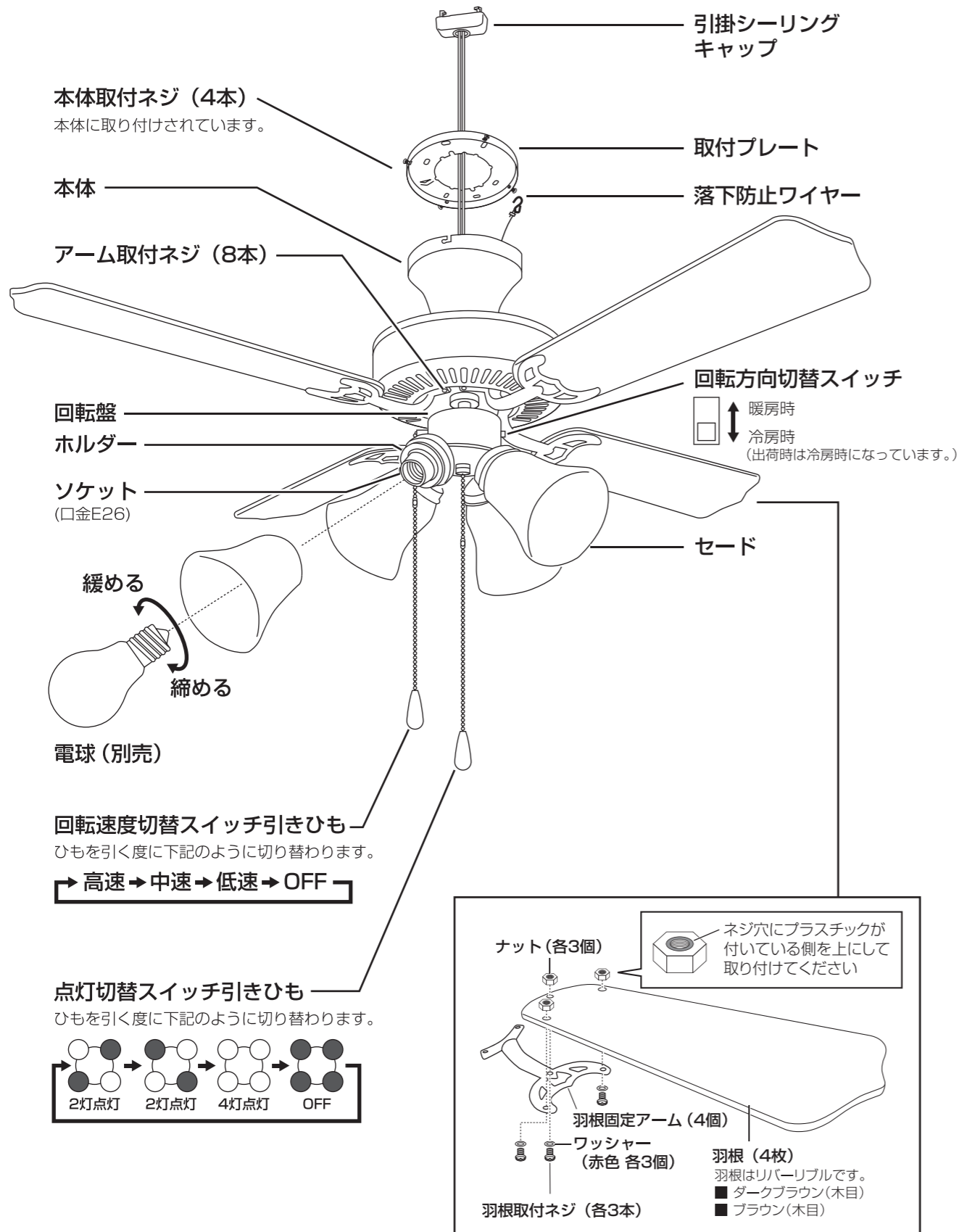
### 注意

禁止	温度の高くなるものを器具の下に置かない。 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かないでください。火災、本体の変形、落下のおそれがあります。	水洗い禁止	お手入れの際は、水洗いはしない。 火災・感電の原因となります。
----	---	-------	------------------------------------

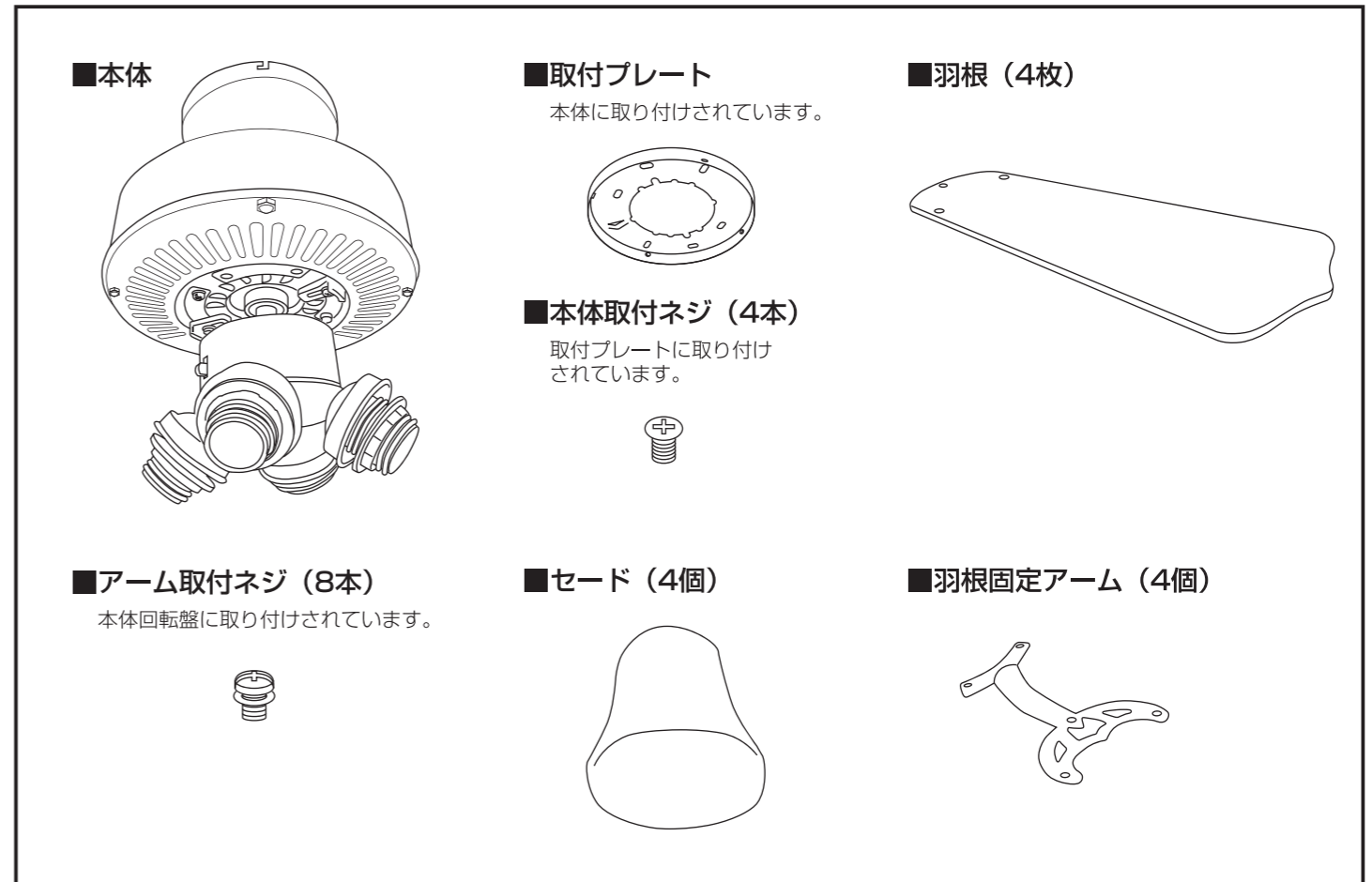
- 天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。

# 各部の名称

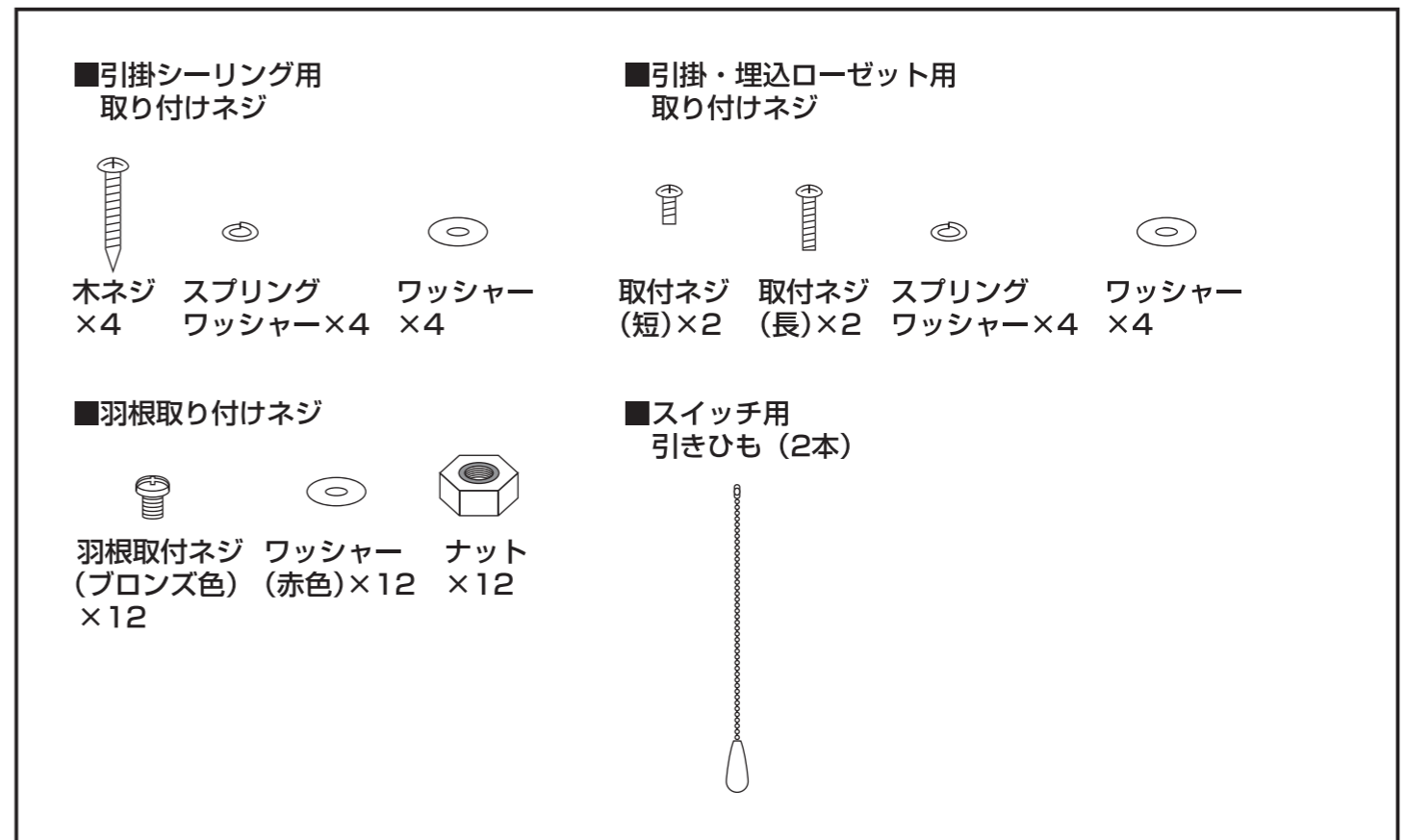
図は一部省略抽象化した部品図です。



# 同梱部品



# 付属品



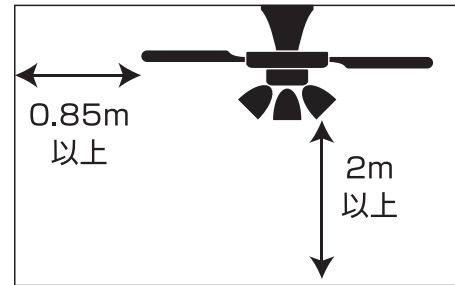
# 器具の取り付け方法

安全のため、必ずブレーカーを切ってから行ってください。

**警告** 電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

## 1 取り付ける場所を決める

■右記の寸法が確保できるところに取り付ける  
 取り付けの際には、図の通りに必ず壁面から0.85m以上離すことができ、取り付ける部屋の天井高が2m以上であることをご確認ください。  
 上記基準を満たしていない場合、空気の流れが乱れて性能が低下したり本体が振動を引き起こす場合があります。



## 2 取り付ける場所の強度を確認し、弱い場所は補強する。

■取付面の強度を確認し、補強するか補強材の入っている場所に取り付ける

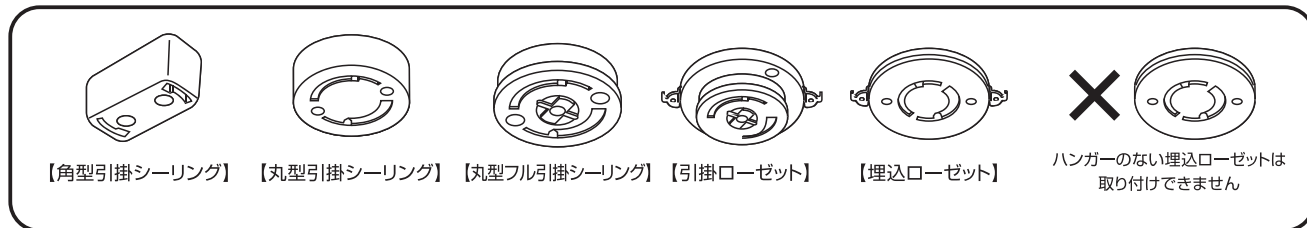
**警告**

十分強度のあるところに確実に取り付けてください。

## 3 天井の引掛シーリングを確認する

■取り付け可能な引掛シーリング

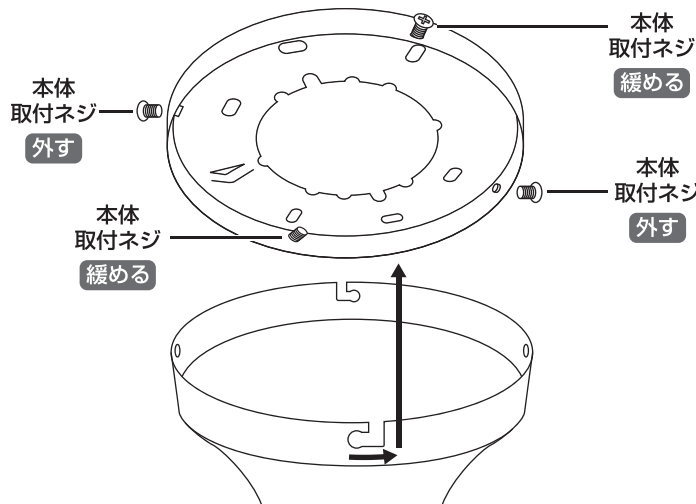
下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。(ガタつきや破損が無いことを確認してください。)



これ以外の特殊な引掛けシーリングには取り付けできない場合があります。

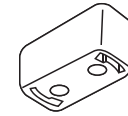
## 4 取付プレートを本体からはずす

本体取付ネジ2本を本体から取り外し、2本を緩めます。  
 取付プレートを矢印の方向に動かして取り外します。  
 取り外した本体取付ネジは、取付プレートに本体を取り付ける際に使用しますので、無くさないようにしてください。



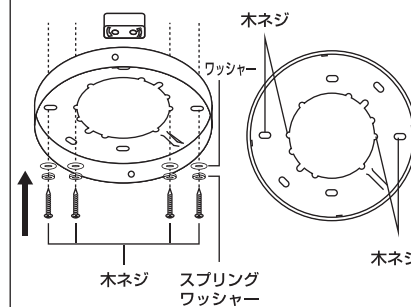
# 5 配線器具に取付プレートを取り付ける

### 角形引掛シーリングの場合



【角型引掛シーリング】

①取り付けプレートの中央の穴に角型引掛シーリングが入るように設置し、付属の木ネジ4本を図の位置に取り付けます。

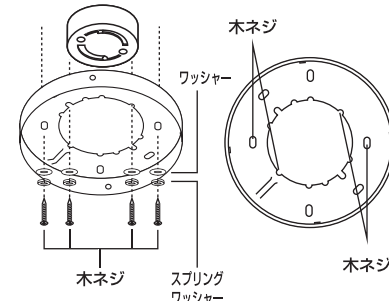


### 丸形引掛シーリングの場合



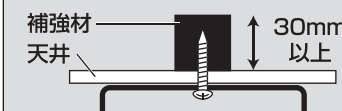
【丸型引掛シーリング】 【丸型フル引掛シーリング】

①取り付けプレートの中央の穴に丸型引掛シーリングが入るように設置し、付属の木ネジ4本を図の位置に取り付けます。

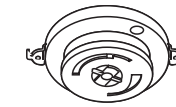


**警告**

図のネジの位置は一例です。天井面の強度を十分に確認し、木ネジは必ず補強材のある場所に確実にとめてください。

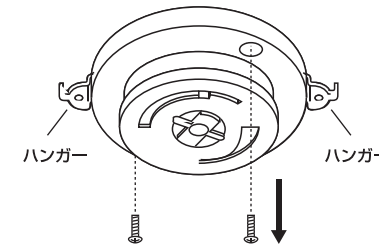


### 引掛ローゼットの場合

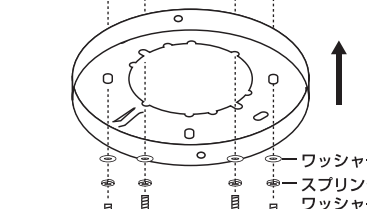
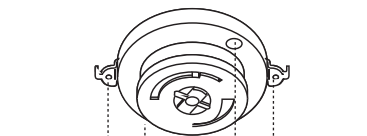


【引掛ローゼット】

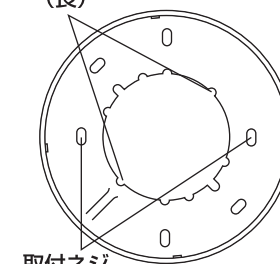
①ローゼットに付いている2本のネジを取り外してください。  
 ※ローゼットのハンガーにネジが付いている場合はネジを取り外してください。



②付属の取付ネジ(短)と取付ネジ(長)を図の位置に取り付けます。



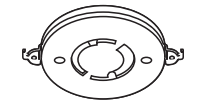
取付ネジ(長)



取付ネジ(短)

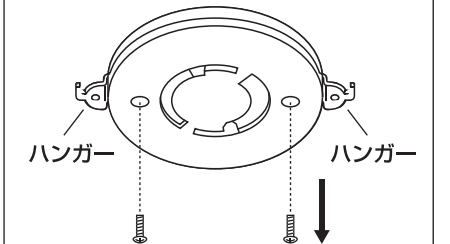
※配線器具の種類によってはネジの取付位置が異なる場合があります。その場合は取付プレートと配線器具の穴の位置関係を確認して取り付けてください。

### 埋込ローゼットの場合

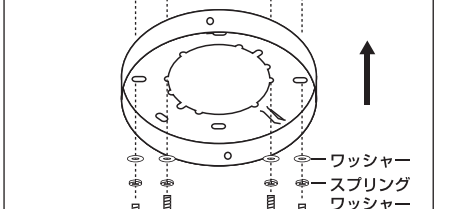
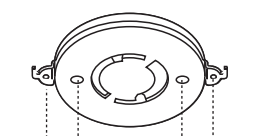


【埋込ローゼット】

①ローゼットに付いている2本のネジを取り外してください。  
 ※ローゼットのハンガーにネジが付いている場合はネジを取り外してください。

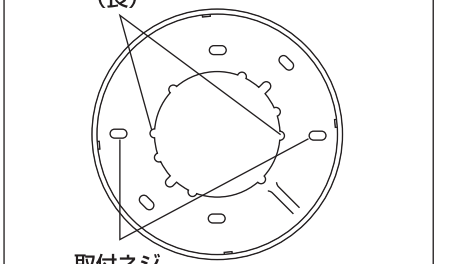


②付属の取付ネジ2本と①で取り外したローゼットに付いていたネジ2本を図の位置に取り付けます。



取付ネジ(短)

取付ネジ(長)

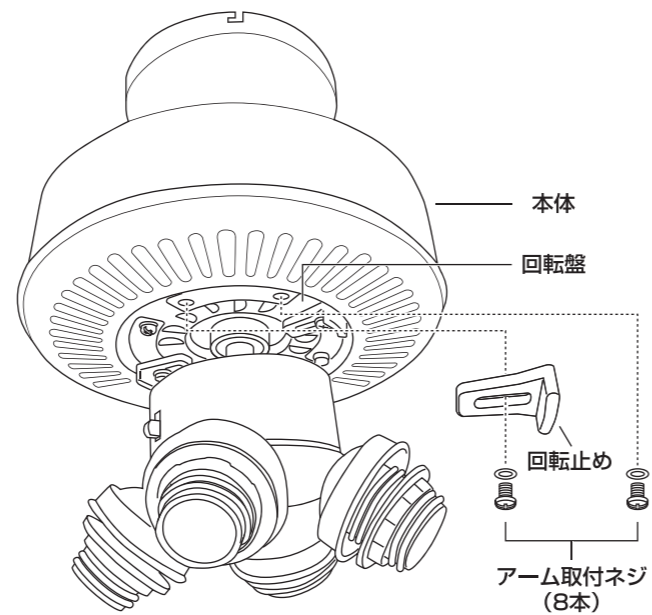


取付ネジ(短)

※配線器具の種類によってはネジの取付位置が異なる場合があります。その場合は取付プレートと配線器具の穴の位置関係を確認して取り付けてください。

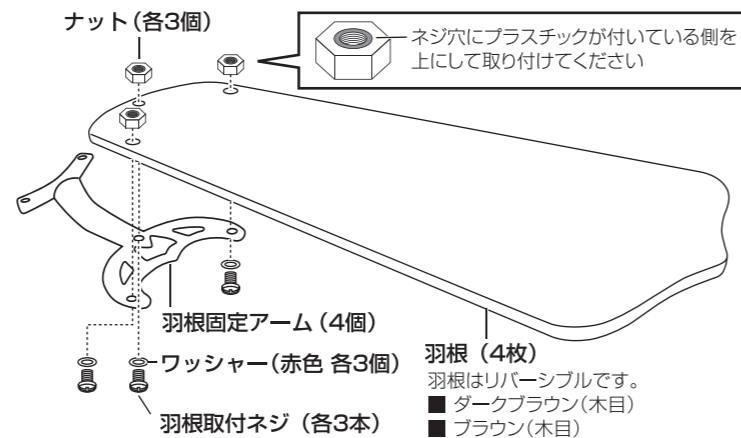
## 6 本体からアーム取付ネジを取り外す

本体の回転板に取り付けられているアーム取付ネジ(8ヶ所)を取り外します。  
取り外した回転止めは、組み立てには必要ありません。



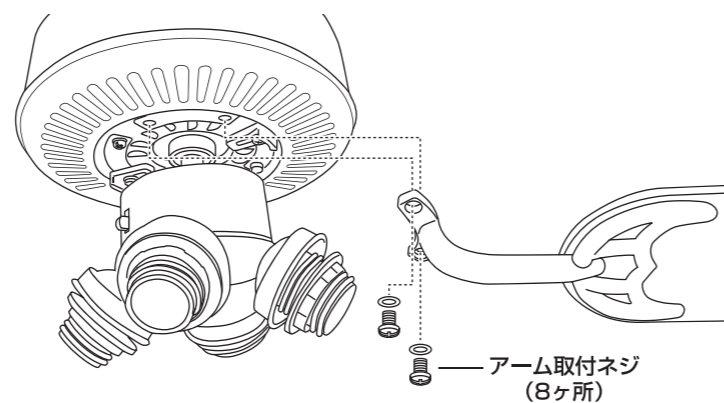
## 7 羽根固定アームに羽根を取り付ける

付属の羽根取付ネジとワッシャーで羽根と羽根固定アームを固定します。  
各羽根固定アームに羽根を取り付けてください。



## 8 本体に羽根を取り付ける

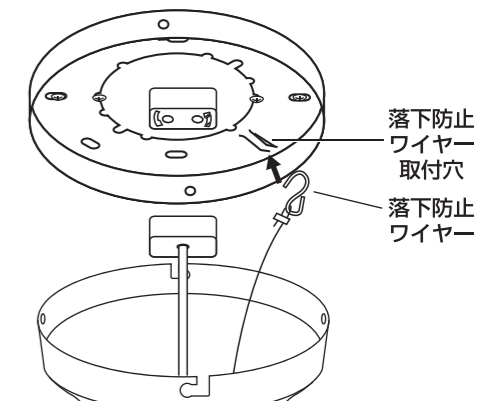
【6】で本体の回転盤から取り外したアーム取付ネジで各羽根を取り付けます。  
各羽根を本体に取り付けてください。



## 9 取付プレートに落下防止ワイヤーを取り付ける

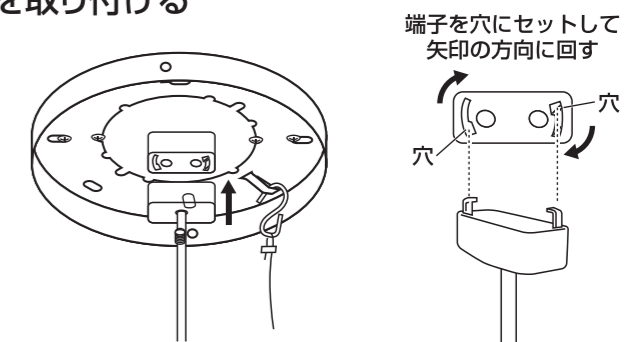
取付プレートの落下防止ワイヤー取付穴に落下防止ワイヤーを引っ掛けてください。

**警告** 落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。



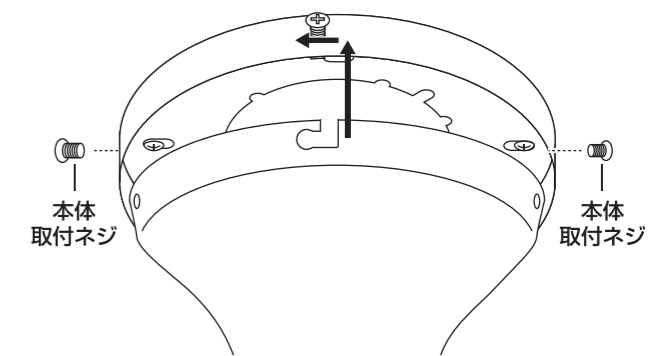
## 10 引掛シーリングに引掛シーリングキャップを取り付ける

引掛シーリングキャップを図のように取り付けます。



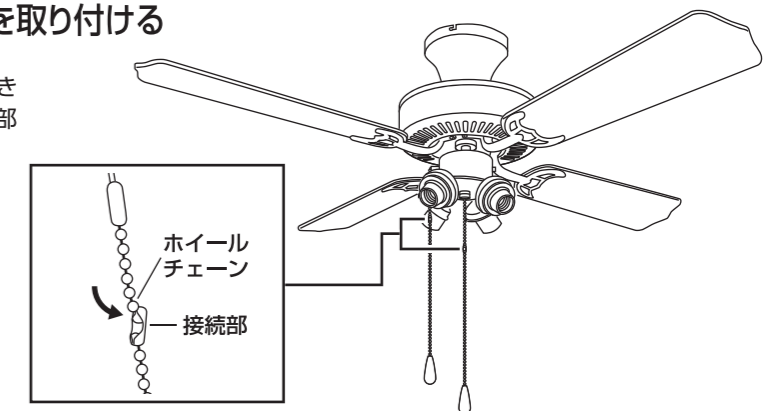
## 11 取付プレートに本体を固定する

本体をしっかり持ちながら【4】で緩めた本体取付ネジに本体を引っ掛け、ネジを回して固定します。  
【4】で外した本体取付ネジを取付プレートに取り付け、本体と取付プレートを固定します。



## 12 点灯切替、速度切替スイッチに引き紐を取り付ける

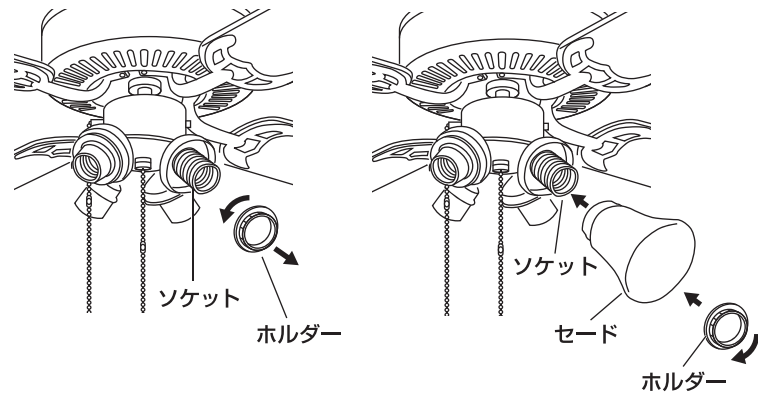
引きひもの先端に付いている接続部を本体側の引き紐のホイールチェーンを引っ掛け、しっかりと接続部の隙間に差し込んでください。



# 13 セードを取り付ける

ホルダーを矢印の方向に回してソケットから外します。  
セードをセットし、ホルダーを逆に回して取り付け、セードを固定します。  
各ソケットに上記手順で取り付けてください。

**警告** 落下防止のため、セードはしっかり持って行ってください。

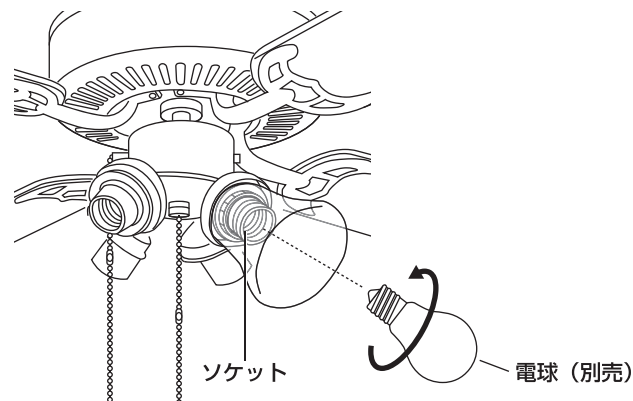


# 14 電球を取り付ける

口金E26の電球(別売)をソケットに取り付けてください。

**警告** 指定の電球を使用してください。火災の原因になります。

**注意** 点灯中や消灯直後の電球と周囲は高温になっておりますので触らないでください。  
電球を落としたり、ぶつけたり無理な力を加えないでください。



# 操作方法

■電源を準備する  
壁スイッチをONにします。

**注意** 壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、操作しても作動しません。

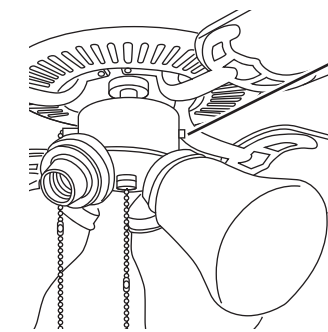
■羽根の回転方向を切り替える

暖房時

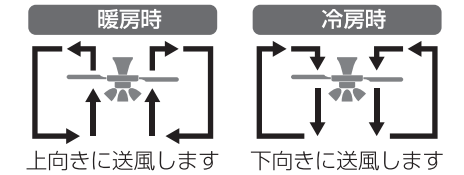
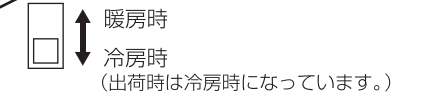
回転方向切替スイッチを上へ操作すると上向きに送風され、天井の暖かい空気を下に下ろすので暖房時におすすめです。

冷房時

回転方向切替スイッチを下へ操作すると下向きに送風され、冷たい空気をお部屋全体に循環させるので冷房時におすすめです。

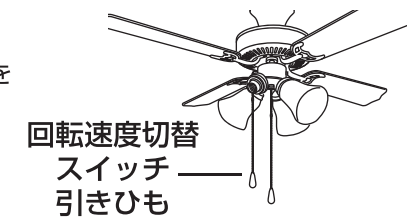


回転方向切替スイッチ



■羽根の回転速度を切り替える

本体側面の回転速度切替スイッチ引きひもを引くごとに右記のように切り替わります。

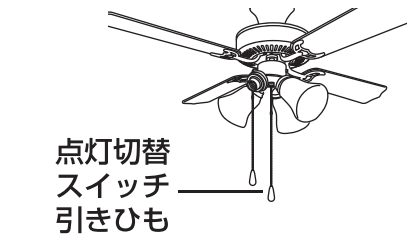


ひもを引く度に下記のように切り替わります。

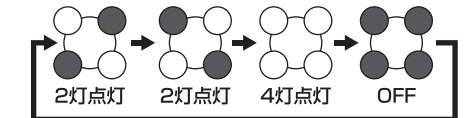


■点灯状態を切り替える

本体中央の点灯切替スイッチ引きひもを引くごとに右記のように切り替わります。



ひもを引く度に下記のように切り替わります。



# 器具の外しかた

必ず主電源※を切って本体が冷めてから行ってください。

■P.7~P.11「器具の取り付け方法」を参照し、逆の手順で取り外してください

※ブレーカー

**注意** セードは無理に外さないでください。セードの割れ、落下によるけがの原因となります。

## お手入れのしかた

安全のため、主電源※を切り、周辺が冷めてから行ってください。

※壁スイッチなど

- 明るく安全に使用していただくため、定期的(6ヶ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- 樹脂部分の汚れを取るときには、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取り、洗剤が残らないようにしてください。

## 故障かなと思ったら

症 状	考えられる原因	対処方法
作動しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。⇒P.12参照
	引掛シーリングキャップが確実に差し込まれていない。	引掛シーリングキャップを確実に接続してください。⇒P.10参照
本体の揺れが大きい 振動する	羽根が破損・変形している	すべての羽根を交換してください。⇒P.3、P.9参照
	羽根や本体のネジが緩んでいる。	ネジに緩みがないか確認してください。⇒P.9、P.10参照
	セードがきちんと固定されていない。	ホルダーに緩みがないか確認してください。⇒P.11参照

## 仕様

型番	番	LT-Y4F4L1
品番	番	06-3905
ファン部	定 格 電 圧	100V 50/60Hz
	消 費 電 力	高速回転時：35W 中速回転時：22W 低速回転時：11W
	回 転 数	高速回転時：177rpm 中速回転時：145rpm 低速回転時：97rpm
照 明 部	定 格 電 圧	100V 50/60Hz
	適 応 電 球 (電 球 別 売)	白熱電球：60W以下×4 LED電球：10W以下×4
	口 金	E26
使 用 場 所		屋内用(屋外使用禁止)
寸 法		(約)φ1060×H425mm
質 量		約6kg
付 属 品		引掛シーリング用取り付けネジ：木ネジ4本、スプリングワッシャー4個、ワッシャー4個 引掛埋込ローゼット用取り付けネジ：取付ネジ(短)2本、取付ネジ(長)2本、スプリングワッシャー4個、ワッシャー4個 羽根取り付けネジ：羽根取付ネジ(ブロンズ色)12本、ワッシャー(赤色)12個、ナット12個 スイッチ用引きひも2本

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。  
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。

## 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

- 本体への表示内容
  - ※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を本体に行っています。
  - 【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】10年  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

- 設計上の標準使用期間とは
  - ※運転時間や温度・湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
  - ※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
  - 標準使用条件 日本工業規格JIS C 9921-1及び(一社)日本電機工業会自主基準HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	単相 100V	製品の定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	施工説明書・取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	取扱説明書による
想定時間など	天井扇 運転時間 運転回数 運転日数 スイッチ操作回数 首振運転の割合	10h/日 5回/日 180日/年 900回/年 規定しない	

注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としています。  
「経年劣化とは」  
長期間にわたる使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

※上記の「長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示」は、  
電気用品安全法の改正に基づき、2009年4月以降生産の製品に記載しています。

## ご使用上に関するお知らせ 故障や異常ではありません。

### 器具自体の留意点

- 下記の場合において回転数に誤差が生じます。あらかじめご了承ください。
  - ・基準回転数において±10%程度の範囲で誤差が生じます。
  - ・電圧変動。
  - ・羽根の重量バラツキ。
  - ・室温の変化。(基準回転数は室温25℃にて測定)

### 周囲の影響

- 器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。
- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
  - リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなる。
  - トランシーバやラジオコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。